

第4章・みんなで考えるまちづくり

これまでに学習したことのまとめとして、札幌市をよりステキなまちにしていけるために
自分たちはどんな活動ができるかを考えましょう！
「環境をよくするためには」「もっと安全なまちにするためには」…みんなで話し合いましょう！

1 まちづくりはこのように行われるよ！

まちづくりは、市民、議員（市議会）、市長・職員が、それぞれの役割をはたして協力しながら進められています。ここでは、それぞれの役割を知って、どんなしくみでまちづくりが行われていくのかを学びましょう。



みんなで力を合わせてまちのことを考え、問題を解決していくよ！

まちづくりの主役である市民は、身近な地域のまちづくりに参加したり、市が行うまちづくりへ意見や提案を出したりする役割があります。札幌をよりよいまちに変えていくため、地域の人々で話し合い、協力し合って目標を実現していくことが大切です。



主役

市民 (みなさん小学生も)

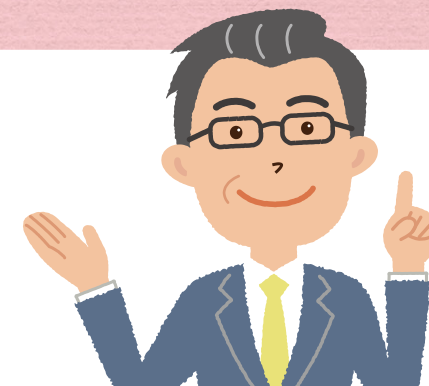
まちづくりの主役は「市民」のみなさんです。どんどんまちづくりに参加しましょう



みんなに大切な役割があるんだね

市長・市職員 (市役所)

市民の意見や提案をまとめながらまちづくりの計画を作ったり、市民のみなさんが進めるまちづくり活動を応援していくのが「市長・市職員」です。市民のみなさんが、もっとまちづくりに参加しやすくなるように仕事を進めています。



市の情報を発信し、まちづくり活動を応援するよ！

市長・市職員は、市民のみなさんがもっとまちづくりに参加しやすくなるように、市の情報を分かりやすく提供し、市民が進めるまちづくり活動を応援する役割があります。市民みんなが暮らしやすくなるよう、よりよいまちづくりのため、計画的に仕事を進めていきます。

議員 (市議会)

市の仕事が正しく行われているかどうかをチェックするのが、「議員（市議会）」です。市民の意見を聞き、市の大事な事柄を決めます。



市の仕事が、正しく行われているかチェックするよ！

議員（市議会）は、市の仕事の進め方やそれに必要なお金の使い方が正しいかどうかをチェックしたり、みんなが守らなければいけない大切な決まりごとを決める役割があります。市民のみなさんに積極的に情報提供するため、市議会では話し合われている様子は誰でも見ることができるようになっています。また、話し合われたことは、広報さっぽろやインターネットでも見るようにしています。

「まちづくり」の進め方の例・ごみを減らす取り組み このままのペースでごみが出されると、埋立地が足りなくなって大変なことに。ごみ処理に多くのお金がかかってしまいます。そのため、ごみを減らす取り組みを進めなければなりません。

①問題を共有する

この問題を市民にもいっしょに考えてもらえるよう、ごみの量や埋立地の状況、このままだとどうなってしまうかなどの情報を、分かりやすく提供します。



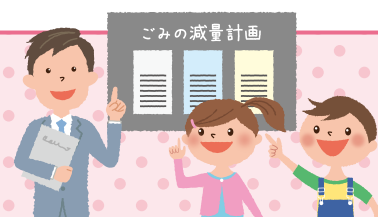
②みんなで考える

どうしたらごみを減らすことができるのかなどについて、市は市民のみなさんや専門家などが参加する会議を開いて、意見をもらいます。



③みんなの考えをまとめたものを、さらに市民に聞いてみる

②の会議で話し合われた内容をもとにまとめた対応案について、本当にその対応でいいのかを市民の皆さんに聞きます。市民は、対応案について意見や提案をします。



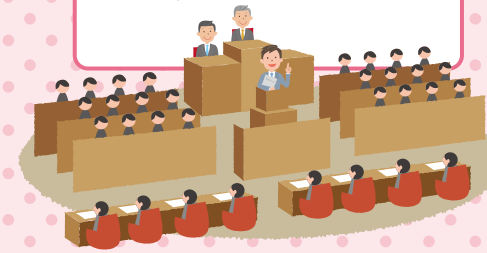
④市民の意見を対応案に反映

市は、③で市民のみなさんから寄せられた意見や提案内容を確認したうえで、最終的な対応案をつくり、それについて議会に話し合ってもらいます。



⑤議会で話し合う

議会は、④の対応案がよいかどうかなどを話し合い、よければ札幌市が行っていく「取組」として決定します。



⑥みんなで取り組む

⑤で決定した取組にそってごみを減らしていくために、市民と市が協力し合い、その取組を進めます。

